

「野の花の丘便り」8月上旬

暑い、暑い、暑い

本州程ではないにせよ、本州並みの暑さが続いています。こんな暑さ、30年ほど前にもあった記憶があります。この暑さで花も夏枯れしたのではないかと、思えるほど目に見える花の量が少なくなってきました。

ヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ、エゾカワラマツバ、クサレダマ、トモエソウなど夏の花はほぼ終了、カワミドリ、ヒヨドリバナなどもピークを過ぎました。

今花の盛りなのが、キキョウの仲間の薄紫色のツリガネニンジン、秋の七草のひとつ黄色のオミナエシ、キクの仲間の紺色のエゾノコンギク、白色のヤマハハコです。また招かれざる客、秋になると一斉に黄色い花を咲かせる、セイタカアワダチソウが目立ってきました。

暑い暑い夏ではありますが、花の世界はすでにもう秋、この暑さが懐かしくなる秋も、もうそこまで来ています。

暑いけど秋の花 ツリガネニンジン



エゾノコンギク



オミナエシ



ヤマハハコ

